希学園 第406回 小6公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第406回公開テスト 小6算数 解説動画(2026年3月8日実施)	https://vimeo.com/1171432823/d7d71c4a17

希学園 第406回 公開テスト 新小６ 算数 2026年３月８日実施 模範解答 制限時間50分

1	(1)	999	(2)	3	(3)	55	(4)	240 （L）
2	(1)	52 （個）	(2)	6 （本）	(3)	1.5 （倍）		
3	(1)	300 （㎤）	(2)	103 （度）	(3)	72 （㎠）	(4)	2520 （㎠）
4	(1)	12.5 分	(2)	16 分	(3)	37 分後	(4)	毎分 60 m
5	(1)	432	(2)	17 個	(3)	2		
6	(1)	10656	(2)	3	(3)	86		
7	(1)	2240 ㎤	(2)	740 ㎠	(3)	64 ㎝	(4)	708.75 ㎤

（配点）

各４点×25

1

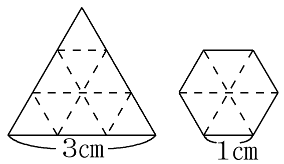
(4)　400dL＋0.5kL－300000mL＝40Ｌ＋500Ｌ－300Ｌ＝240Ｌ

2

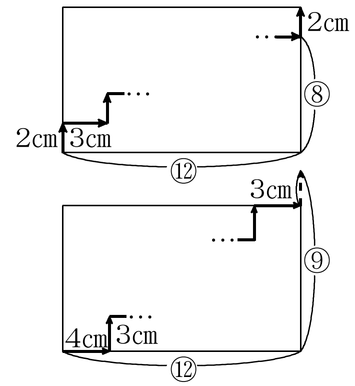
(1)　100÷17＝５あまり15　　999÷17＝58あまり13
あまりが14になるのは，６あまり14から57あまり14まで。
よって，57－６＋１＝52(個)

(2)　正十角柱の辺の数は，10×３＝30(本)
正十二角すいの辺の数は，12×２＝24(本) → 30－24＝６(本)

(3)　１辺の長さが３cmの正三角形の面積は，
１辺の長さが１cmの正三角形の面積の９倍。
１辺の長さが１cmの正六角形の面積は，
１辺の長さが１cmの正三角形の面積の６倍。
よって，９÷６＝1.5(倍)

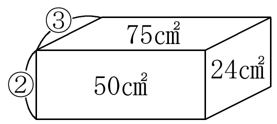


(4)　図から，長方形の横の辺の長さは，３cmと４cmの公倍数。ＬＣＭ(３，４)＝12より，⑫cmとする。
右の図から，たての長さは，
⑫×$\frac{2}{3}$＋２＝⑧＋２(cm)　または，
⑫×$\frac{3}{4}$－３＝⑨－３(cm)　と表せる。
よって，⑧＋２＝⑨－３ → ①＝５(cm)
たて…５×８＋２＝42(cm)，横…５×12＝60(cm)
より，42×60＝2520(cm²)

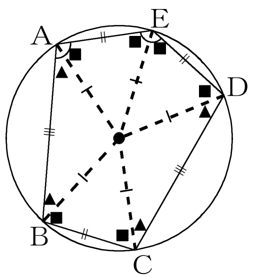


3

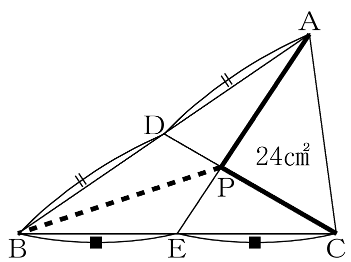
(1)　75：50＝３：２より，右の図。
③×②＝①×①×６＝24(cm²) → ①＝２cm
よって，②＝４cm → 75×４＝300(cm³)



(2)　右の図のように円の中心から各頂点に補(ほ)助線を引く。
二等辺三角形が５個できて，そのうち２個と３個がそれぞれ合同。
図からＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄのそれぞれの頂点の角度がすべて▲■で同じとわかる。
よって，(540－128)÷４＝103(度)



(3)　ＡＥとＣＤの交点をＰとし，補助線ＰＢを引く。
ＡＤ＝ＤＢ，ＢＥ＝ＥＣより，三角形ＰＡＢ，三角形ＰＢＣ，三角形ＰＣＡの面積はすべて等しい。
よって，24×３＝72(cm²)



4

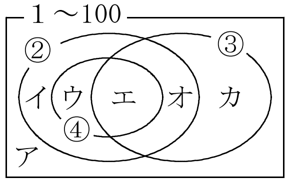
(1)　75×12＝900(ｍ)　　40×12＝480(ｍ)
480÷48＋12＝22(分)…Ａのかかる時間
900÷40＋12＝34.5(分)…Ｂのかかる時間
34.5－22＝12.5(分)

(2)　2.1km＝2100ｍ　　2100－900＝1200(ｍ)
1200÷12＝100(ｍ/分)…Ｂの歩く速さ
1200÷48＋12＝37(分)…Ａのかかる時間
900÷100＋12＝21(分)…Ｂのかかる時間
37－21＝16(分)

(3)　21－12＝９(分)　　48×９＝432(ｍ)　　432÷12＝36(ｍ/分)…Ｂの歩く速さ
900÷36＋12＝37(分)…Ｂのかかる時間　　よって，37分後。

(4)　Ｂの速さを毎分①ｍとすると，ＡとＢが出会った地点からＱ地点までのきょりは，①×12＝⑫(ｍ)となる。
900÷①＝⑫÷48 → 900÷①×①＝⑫÷48×① → 900＝①×①÷４
よって，①＝60(ｍ/分)

5



(1) 12＝２×２×３で，４＝２×２より，
４の倍数を示す円は二重の円になる。
エは４と３の公倍数，つまり12の倍数。
100÷12＝８(個)あまり４　　12×８＝96
エは12，24，…，96の８個。(12＋96)×８÷２＝432

(2) カは３の倍数で，２の倍数でないもの(奇数)。
３，９，15，21，…，99となる。
公差が６なので，(99－３)÷６＋１＝17(個)ある。

(3) オは２と３の公倍数，つまり６の倍数のうちエ以外。
ウは４の倍数で，３の倍数でないもの。
イは２の倍数で，３の倍数でも４の倍数でもないもの。
アは２の倍数でも３の倍数でもないもの。
１から12までを１セットとすると，

１	２	３	４	５	６	７	８	９	10	11	12
ア	イ	カ	ウ	ア	オ	ア	ウ	カ	イ	ア	エ

となる。
１セット内にイ，ウはともに２個で，２＋10＝４＋８より，
同一セットにイとウが２個ずつあれば，和は同じになる。
100÷12＝８(セット)あまり４ → あまりの４個に注目する。
イに入るものは98，ウに入るものは100。
その差は，100－98＝2

6

(1) 右のように筆算にする。
アに９，イとオに８と７，ウとカとクに６と５と４，
エとキとケに３と２と１を入れる。
和の最大は，
９×1000＋(８＋７)×100＋(６＋５＋４)×10＋３＋２＋１＝10656

```
  アイウエ
    オカキ
＋    クケ
```

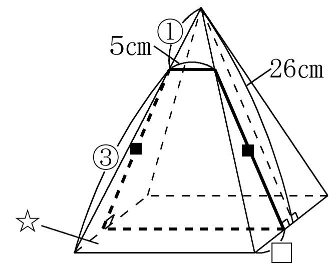
(2) 積の一の位が７なので，
作った３つの数の一の位に偶数と５はない。
よって，１，３，７，９から３枚とわかる。
１×３×７＝21，１×３×９＝27，１×７×９＝63，３×７×９＝189
よって，作った３つの数の一の位は１，３，９なので，和の一の位は，
１＋３＋９＝13 → 3

(3) ２けたの数の12倍が４けたの数で，
1023÷12＝85あまり３より，２けたの数は86以上。
調べて，２けたの数，４けたの数で使う数が重ならないものをさがす。
86×12＝1032，87×12＝1044，89×12＝1068，90×12＝1080，91×12＝1092
92×12＝1104からあとは，98×12＝1176まですべて，明らかに１が２枚必要なので調べなくてよい。
数が重なっていないものは，86×12＝1032のみ。

7

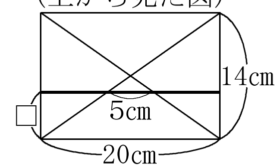
(1) 14×20×24×$\frac{1}{3}$＝2240(㎤)

(2) 14×20＋182×２＋250×２＝1144(㎠)…四角すいの表面積
14×24÷２＝168(㎠)…切り口　　1144÷２＋168＝740(㎠)



(3) 182×２÷20＝18.2(㎝)は24㎝より短いので，
底辺が20㎝の方の二等辺三角形の面積が250㎠。
182×２÷14＝26(㎝)
また，５㎝は20㎝の$\frac{1}{4}$なので，四角すいの底面から$\frac{3}{4}$の高さで切断している。
右の図の■は，26×$\frac{3}{4}$＝19.5(㎝)
よって，切り口の台形のまわりの長さは，
５＋20＋19.5×２＝64(㎝)

(上から見た図)



(4) 右の図の□は，14÷２×$\frac{3}{4}$＝5.25(㎝)
24×$\frac{3}{4}$＝18(㎝)
5.25×18÷２＝47.25(㎠)…☆を右から見たときの面積
47.25×$\frac{5+20+20}{3}$＝708.75(㎤)

(配点)各４点×25